

広報

わがまみいし

2006年

No.546

8

あ～惜しがったない！

町グラウンドゴルフ協会夏季大会（7月4日）





水は私たちの生活になくてはならないものです

漏水していませんか!

配水管から分かれた給水装置は、使用される方の管理となります。このため、もし漏水があった場合、漏水分の料金も使用者の方に負担していただることになりますのでご注意ください。

なお、そのようなことにならないためにも、給水装置は各家庭で自主的に点検してください。家中の蛇口を全部閉めても、水道メーターのパイロットが動いていれば漏水です。

漏水を発見した場合は、町指定給水装置工事事業者にご連絡ください。

最近、家庭から出る生活排水

町の水道水源は、全てが地下水（深井戸）であるため、水の効率的な利用を図ることと、水源を保全することが大切です。

最近、家庭から出る生活排水

○お風呂の残り水の利用を
シャワーを使うときは、こまめに開け閉めしましょう。
また、洗濯や掃除などにお風呂の残り水を利用しましょう。

○洗車はバケツ洗いで節水を
バケツで洗うと30リットル程度ですむ洗車も、流しつぱな

水によって自然が汚されています。油汚れのひどいものは紙でふき取る、洗剤は少く使ったなど工夫して、できるだけ、きれいに水を自然に返すように心がけましょう。

水はきれいに自然に返しましょう

○お風呂の残り水の利用を
シャワーを使うときは、こまめに開け閉めしましょう。
また、洗濯や掃除などにお風呂の残り水を利用しましょう。

○食器のため洗いで節水を!
5分間水道を流しつぱなしにすると約60リットルの水を

なしのホース洗いでは、240リットル以上の水が必要になります。
○蛇口はきちんと閉めて
蛇口から、ポタリ・ポタリと落ちる水滴も、一日約50リットルのムダになります。蛇口はきちんと閉めましょう。

心がけ次第で、こんな大きな
節水に!

私たちの生活になくてはならない水にも限りがあります。いつまでも、安心して水が使えるように、普段から、ムダな使い方をしないで、節水することが大切です。

○お風呂の残り水の利用を
シャワーを使うときは、こまめに開け閉めしましょう。
また、洗濯や掃除などにお風呂の残り水を利用しましょう。

○食器のため洗いで節水を!
5分間水道を流しつぱなしにすると約60リットルの水を

心がけ次第で、こんな大きな
節水に!

○お風呂の残り水の利用を
シャワーを使うときは、こまめに開け閉めましょう。

○お風呂の残り水の利用を
シャワーを使うときは、こまめに開け閉めしましょう。
また、洗濯や掃除などにお風呂の残り水を利用しましょう。

○食器のため洗いで節水を!
5分間水道を流しつぱなしにすると約60リットルの水を

一日一人ペットボトル155本
の水を使用

平成17年度の一年間、町内の各家庭や工場、会社などで、1,334千m³、一日当たりにすると、約3,650m³（小学校のペール約13杯分）の水が使用されています。

その内、各家庭における水の使用料を見てみると、一日一人当たり、約310リットル（2リットルのペットボトル約155本分）の水を使用しています。水の使用量は生活水準の向上により、毎年増え続けています。（表1参照）

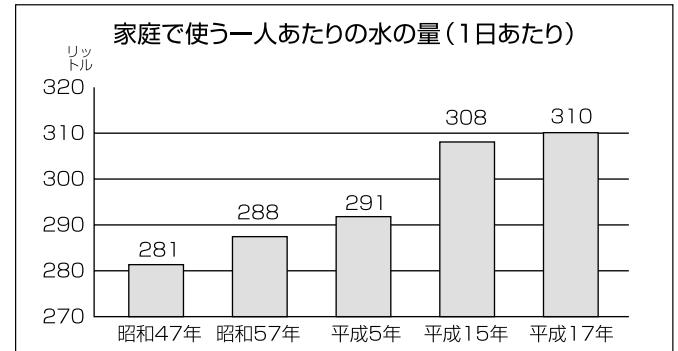
8月1日から7日の「水の週間」

水は限りある大切な資源です

朝起きてから寝るまで、洗顔や歯みがき、入浴、洗濯、食器洗い、トイレなど水を使わない日はありません。水は、私たちの生活や産業を支える大切な資源です。8月は、1年で最も水の使用量が多くなる時期です。

水に対する私たちの理解を深めるために、毎年8月1日を「水の日」、8月1日から7日の1週間を「水の週間」として定めています。この機会に、水の大切さや身近にできる節水について考えてみましょう。

○問い合わせ先 町上下水道課 ☎62-2119
☎62-2348



出前講座 への 申込みを お待ちしてます



第5・8分団 惜しくも優勝逃がす

=県消防協会須賀川支部消防操法大会=



ポンプ車の部に出場した第5分団



小型ポンプの部に出場した第8分団

7月23日(日)、鳥見山公園駐車場で、県消防協会須賀川支部消防操法大会が開催され、9月に行われた町大会を勝ち進んだ、第5分団が小型ポンプの部に、第8分団がポンプの部に出場しました。この日のために、長期間、早朝や夕方に練習を積んでいた選手のみなさんは、一糸乱れぬ動きで、すばらしい操法を披露しました。当時は、選手のご家族や地区住民が会場に駆けつけ大声援を送りました。

○第8分団
●指揮者　中本
郎　・2番員　根本浩伸
・3番員　安藤一男　・補欠
渡辺正晃

○第5分団
●指揮者　根本
豊　・1番員　横田豊　・2番員　関根秀　・3番員　高
富寿幸　・4番員　吉田敦　・5番員　吉田憲司　・6番員　根本清一
郎　・1番員　根本清一　・2番員　根本浩伸　・3番員　安藤一男　・補欠

出前講座メニュー一覧表

教養

町の財政のしくみとあらまし　町の台所事情
選挙制度と一票の重み　一票からのまちづくり
市町村合併を考える(広域行政と自治体)
新しい時代の鏡石町の姿
電子自治体への取り組み　これからどうなるIT新技術
町の仕事とくみ　町の仕事再発見
広報かがみいし発行のしくみ　広報紙ができるまで
鏡石町の国際化計画について
国際社会に対応した多文化共生社会づくり
土地と家屋の固定資産税　固定資産税のしくみ
町税と地方税　町税の種類と課税・納税
税務町民課の窓口業務　各証明・戸籍届出等について
住民基本台帳ネットワーク　住基ネットのしくみと利用方法
租税教室　社会の会費、税金について分かりやすく解説
牧場の朝YOSAKOI　YOSAKOI踊りの実技指導
議会の機能と傍聴のススメ　議会の役割としくみ
みんなの公民館　公民館活動で心豊かな生活を
育英奨学金制度って何?　育英資金基金活用で人づくり
教育委員会のしくみと仕事　教育委員会はこんな仕事をしています
開かれた学校づくり　地域のみなさんと共につくる学校
地域の学習　昔の農家はこんなかんじでした
私たちの先人に学ぶ　わが町の文化財
まちづくりは生涯学習から　元気な町民づくりと生涯学習
上手な体育施設の利用法　町体育施設と効果的な利用のしかた
映画会でもいかが?　親子で名作鑑賞、感動の共有を
生涯学習出前講座とは?　出前講座のしくみとこれから
みんなの図書館　図書館の便利な利用法
ペット関係講座①　ペットの飼い方教室
ペット関係講座②　ペットと動物由来感染症について
地域に残したい伝統食　農村における伝統・行事食づくりなど
これで完璧「家庭菜園」　家庭での野菜作りから農薬使用法まで
我が家のかみを食卓に　地元でとれた農産物の加工・保存実習
ボランティアってなあに?　ボランティアについてわかりやすくお話しします
福祉レクリエーション　簡単なゲームや手遊びなどで楽しみましょう

健康

子どもの健康　身体とこころを育てよう
女性の健康　女性のライフサイクルに応じた健康管理のポイント
高齢者の健康　高齢期の心身の変化に応じた健康管理のポイント
生活と健康　年代別に合わせた健康的な食生活のポイント
生活習慣病の対策　暮らし方のふり返りが生活習慣病を予防改善
骨粗しょう症の予防　骨を大切にする運動と食生活
乳がんの自己診察法　乳がん自己診察法の実際
健診後の健康管理　健診結果の見方と生活・食事の注意点
おたっしゃ健康教室　高齢者の元気づくり
医薬品について①　医薬分業とは
医薬品について②　薬の正しい使い方は
食品衛生について①　知っておきたい食品衛生知識
食品衛生について②　台所の食品衛生
食品衛生について③　食品安全にかかる最近の話題

食品衛生について④　食中毒予防について
健康づくりについて　生活習慣病の予防について
心の健康について　ストレスや心の病気の早期発見について
感染症について　O-157、結核、エイズなど
乳幼児関係　乳幼児突然死症候群について
子どもの事故予防と応急手当　誤飲、火傷、骨折などの応急手当について
みんなでスポーツ　ニュースポーツで仲間、楽しみ、体力づくり

産業

鏡石町の農業　農業経営の現状と課題
鏡石町の商工業　現状と課題
鏡石町の商工業　職場見学及び体験
農業者年金について　農業者年金制度のあらまし
農地と法律　農地の権利移動と転用について

生活・防災

消防と防災の現状は　災害から生命・財産を守る
交通安全と暮らし　交通安全はあなたのマナーとルールから
お年寄りの交通安全　交通事故に遭わないために
地域安全活動　安全・安心なまちづくり
救急法講習　救急車が来るまでに

福祉

国民健康保険制度　もっと知りたいみんなの国保
国民年金について　知っておきたい国民年金
老人保健医療制度　老人医療の手続きとしくみ
これからのお宅介護　在宅介護サービスの上手な活用法
子育て支援と児童館の役割　児童館を上手に活用しよう
介護保険制度のしくみ　介護保険制度のしくみと活用法
保健・福祉サービス　活用してほしい健康・福祉サービス

まちづくり

地方分権と自治体　これからのまちづくりの行方
共に生き共につくる「牧場の朝」のまちづくり
統計から見る鏡石町　鏡石町第4次総合計画について
数字で見る町の姿
フローラのまちづくり　町花・木を中心とした花・木で彩るまちづくり
都市計画とまちづくり　未来の快適なまちづくり
道路と地域開発　くらしを支える道路と地域づくり

環境

ごみ減量と分別収集　一人ひとりがルールを守り、ごみ減量
EM生ゴミリサイクル　環境と身体の健康レベルを高める生ゴミの処理法
「環境あらまつ隊」出動　幼児向けの環境学習
みんなの安心上水道講座　上水道の役割としくみ
みんなで快適下水道講座　下水道の役割としくみ
環境衛生について　住まいの衛生について
飲料水について　飲料水の衛生について
井戸水の安全性について　安全な井戸と不安な井戸水について

○申込み方法は
受講したい団体・グループの方は、開催日の14日前までに、町教育課へお申込みください。なお、業務の都合上、希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

○申込みできない場合も
政治、宗教、営利を目的とした催しなどには、講師を派遣できません。

○開催時間と場所
開催時間は、午前9時から午後9時までの間で1講座が2時間程度。開催場所は、町内に限ります。

○申込みできる方は
申込みのできる方は、原則として町内在住又は、通勤している10人以上の団体・グループです。

「生涯学習まちづくり出前講座」は、町が実施している取り組みを、町民のみなさんに知っていたため、町職員などが講師となり、みなさんの所に向いて行っている講座です。みなさんどうぞご利用ください。
なお、メニューにはない講座もできるだけご要望に応じますので、お気軽にご相談ください。

英語指導助手ミシェル・クロフさん 帰国報告会

英語指導助手のミシェル・クロフさんが、この程、母国カナダに帰国することになり、7月19日(水)午前9時に帰国報告のため町役場を訪りました。

ミシェルさんは、平成16年8月から2年間、町内の幼稚園・中学校の子どもたちに英語を指導しました。

当日は、木賊町長などがミシェルさんを出迎えました。ミシェルさんが「鏡石はとても良いところ。町民はみなさんやさしい人ばかり。また、いつか鏡石に来たいです。」とお別れの言葉を述べたあと、木賊町長が、「2年間ありがとうございます。また機会があれば鏡石にいらしてください。」とあいさつ。最後に、ミシェルさんに、折り紙などの記念品が贈られました。



記念品を受け取るミシェル先生



早朝の町内をウォーキングする参加者

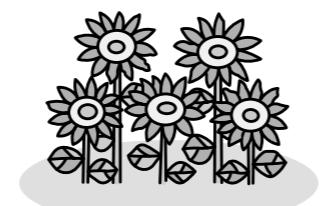
早朝のさわやかな空気を満喫! ファミリーふれあい!ウォーキング

町青少年育成町民会議が主催する第19回ファミリーふれあいウォーキングが、7月8日(土)午前6時から開催されました。

子どもから、お年寄りまで世代を超えて触れ合いながら、健康づくりに役立ててもらうため毎年開催しています。

当日は、約500人の町民のみなさんが、町公民館に集合し、開会式と準備体操を行ったあと、2班に分かれゴールの岩瀬農業高校を目指し出発。参加者は、さわやかな朝の空気を吸いながら心地よい汗を流していました。

到着後は、岩瀬農業高校の敷地内を見学したほか、同校でつくっているアイスクリームを試食しました。



花咲かボランティア募集

町花いっぱい運動実行委員会では、町内を花で飾る「花咲かボランティア」を募集します。

「花咲かボランティア」は、町内の2世帯以上で1つのグループをつくり、近所の空き地や沿道に花を定植・管理するボランティアです。

みなさんもいっしょに、町中を花の園にしてみませんか！

○問い合わせ先 町公民館 ☎62-2031

工業団地企業立地調印式



調印を祝う木賊町長(左)、根本常吉会長(中央)、根本トキ子代表取締役(右)

(有)東北資源と 土地売買契約成立

町と(有)東北資源の東部工業団地の土地売買契約調印式が7月19日(水)午前11時から町役場で行われました。

(有)東北資源は、本社が成田にあり、主に産業廃棄物の収集運搬やダンボールなどの資源回収を手がけています。この度、業務拡張に伴い工場を建設するため5,142平方㍍の土地を取得しました。

式では、根本常吉会長と木賊町長が契約書に調印しました。

なお、今回の契約により、鏡石東部工業団地には、14社の企業が立地し、昭和61年の分譲開始から20年で完売しました。

まちの話題

ジョイフルライフ講座 雄国沼トレッキング(山歩き)

町生涯学習文化協会が主催するジョイフルライフ講座では、7月9日(日)、雄国沼トレッキング(山歩き)を実施しました。

受講生22名が参加。雄子沢登山口から雄国沼を目指しました。途中、キビタキ・ウグイスなどの声を聞き、森の中を観察しながら進みました。

昼食後、ニッコウキスゲの花で一面黄色に彩られた雄国沼湿原へ行き、ニッコウキスゲやワタスゲ、ヒオウギアヤメなどの可憐な花々を観察し自然を満喫しました。



雄国沼の自然を楽しむ参加者

下水道まつり開催

町の下水道の汚水を処理している「県中浄化センター」において「下水道まつり」が開催されます。

下水道の仕組みについてのパネル展示や顕微鏡で見る微生物の観察、施設・機器の見学スタンプラリー、親子で楽しめるイベントやプレゼントコーナーなど盛りだくさんですので、ぜひお出かけください。(※雨天決行です。)

○日 時 9月10日(日)午前10時～午後3時
○場 所 県中浄化センター(郡山市日和田町高倉字追越89番地)
○問い合わせ先 町上下水道課 ☎62-2119



私たちの活動が、少しでも多くの方に
本を読んでもらえるきっかけになるといいですね



絵本の読み聞かせをする横田さん

町民
リレー

NO.238

よこた きょうこ
横田 京子さん(鏡沼)



大河原 梓ちゃん(2歳)
(不時沼)

•家族から一言… 2才になったばかりの梓。いろいろな言葉をおぼえてきて毎日楽しいです。



深谷 皆斗くん(2歳)
(中央)

•家族から一言… 「これなんだ?」と何にでも興味深々です。

保健師さんの健康だより

平成16～17年の「鏡石町健康意識調査」では、男性の2割、女性の3割がよく眠れていませんと答えています。特に80代の女性では他世代よりも熟睡感が少ない傾向が見られました。

しかし、厚労省が策定した「健康づくりのための睡眠指針」の中では、「睡眠は人それぞれ、日中元気ハツラツが快適な睡眠のパロメーター」であるとして、「自分にあった睡眠時間があり、8時間にこだわらないでいい。」と説明していますから、あまり心配する必要はないようです。

ただし、頻繁に大きなびきがあり、「10秒以上続く無呼吸が睡眠1時間に5回以上」あるほか、夜中たびたび目を覚まし、日中の強い眠気や居眠り等の症状が続く場合は、「睡眠時無呼吸症候群」の可能性がありますので、専門医に相談するよう勧めています。30歳以上の男性肥満者の患者が最も多いので、※BMI 25

※ BMI (肥満度) = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

算出した数値が、18.5未満なら「やせ」、25.0以上なら「肥満」と判定されます。

蒸し暑い夜が続く季節ですが ぐつすり寝れていますか



広告

“旅”的ことならおまかせ

JRS 旅俱楽部

有限会社 ジャパン旅行サービス

イオンスーパーセンター鏡石店内

〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町桜岡375-9

TEL 0248-62-6039 FAX 0248-62-3551

広告

**身近なニュースと話題なら
皆様の日刊新聞**

阿武隈時報社

本社 〒962-0848 福島県須賀川市弘法坦15-1
TEL(0248)73-2483 FAX(0248)73-3616

支社 〒969-0213 西白河郡矢吹町本町36
TEL(0248)44-5833

「平成9年に鏡石町に越してきました。この町は、近所の方がとても親切で、施設も充実しており安心して暮らせる所だと思いました。」と話す横田京子さん。

そんな横田さんは、現在、読み聞かせボランティア「あゆみらい」の代表として、絵本の読み聞かせなどのボランティア活動を行っています。「引っ越ししてきた当時、図書館が完成する1年前で、読み聞かせの会員を募集していました。知り合いもなかつたので、友だちができればと思います。私たちの読み聞かせ会のような活動が盛んになって、もっと多くの方に図書館を利用してもらえばと思っています。また、町民には町民プール「すいすい」の入場料を安くして欲しいですね。」と話してくださいました。

最後に、まちづくりについて尋ねると、「最近、本を読む機会が少なくなってきた」と言われています。私たちの読み聞かせ会のようないい活動が盛んになつて、もっと多くの方に図書館を利用する機会を増やしてもらいたいです。

次回は、横田さんの紹介で大池の稻田よし江さんを紹介いたします。

診療日程等の変更について

公立岩瀬病院では、次の診療科の診療日等について変更がありましたので、お知らせします。

◎整形外科 7月3日から毎週月・水・金曜日

◎産婦人科 8月1日から休診 ※なお、当院が実施している各種検診のなかの婦人科検診については、福島病院で(7月24日から)実施。

◎皮膚科 7月7日から毎週金曜日の午前中

◎問い合わせ先 公立岩瀬病院庶務課 75-3111 (内線205、206)



まちの名所・旧跡



東京かがみいし会通信

飛澤 勇美
さん
(神奈川県)



私は笠石上町出身です。終戦後6・3制が施行された第1期生です。小学校の一部を借りて新生中学1年に入学した頃、現在の場所に木造の校舎が建築されました。雑木林の中で、グラウンドもなく、毎日校庭をつくるために放課後は木の根を掘り起こす作業をしていました。当時私が一番思い出に残っているのは、昭和23年の校舎落成記念のマラソン大会に参加したことです。男子は10km、女子は5kmの距離を走りましたが、私はこの大会をきっかけにマラソンが好きになりました。

須賀川高校入学後、昭和26年に第1回青森東京駅伝大会があり、福島県代表として出場いたしました。当時の国道4号線は大部分が砂利道で、鏡石の国道沿いには、松並木の大木があったことを今でも思い出します。

高校卒業後は商人になろうと仙台屋呉服店に就職し6年間故郷で過ごした後、昭和34年に上京、電気会社に就職しました。当時は、泉岳寺前に間借りし会社に通勤しておりました。自宅から東京タワーが近かったので遊びに行き、展望台に上り大きな町並に感嘆したものです。上京して半世紀、東京も高層ビルが建築されて町並みも様変わりしております。平成の大合併で地方自治を運営される方々の責任も大きくなっています。

東京かがみいし会は、故郷の同級生と共に出席してからのつきあいです。最近は中学校の同級生と月1回、会食会や、年一回旅行をし“わいわい”楽しくしております。我が家は子どもたちが成長、独立したので、現在は妻と二人で年金生活です。古稀を過ぎると、故郷での楽しい思い出が走馬燈の様に浮かんできます。故郷があることは心強く生活の糧となっております。故郷、鏡石町の発展とみなさまのご多幸をお祈り申し上げます。

町の笠石地区に、町の指定文化財に登録されている笠地蔵があります。これは、笠地蔵尊として昔から地域住民に親しまれていた笠付きの碑のことです。現在も、4月と8月に縁日が行われ、多くの人でにぎわいます。昭和49年に町の指定文化財に登録され、現在はお堂の中に安置されています。なお、笠のある板碑は、国内外でも大変珍しいものと言われています。

笠地蔵

今月の表紙



今月の表紙は、7月

4日(火)午前9時から

鳥見山多目的広場で行
われた、町グランドゴ
ルフ協会の夏季大会の一
コマ。

大会には、約50人が
参加。個人別に打数を
競い合いました。参加
したみなさんは、日頃
の練習の成果を發揮し、
元気ハツラツとしたプ
レーを繰り広げていま
した。